

2018.06.16 中日新聞 朝刊記事

高齢者が介護予防 げんき大学入学式

清須の短大

清須市の愛知医療学院短大で、高齢者が介護予防を学ぶ「清須市民げんき大学」の入学式があった。写真、同短大提供。

高齢者の健康維持などを支援しようと、昨年度から同大と市が連携して開講している。本年度の生徒は公募で集まった六十五〜八十一歳までの二十一人。来年三月の卒業式まで二週間に

一回ほどのペースで授業があり、高齢になるにつれて起こる体の変化や認知症予防策、筋力を強化する体操などを学ぶ。

市職員や同大で教員を務める理学療法士、作業療法士らが講師となり、同大の学生もサポート役で授業に参加。三分の二以上の出席で修了となり、学んだ内容を地域で広めることなどが求められる。

式で、舟橋啓臣学長は「学生との交流でたくさんのエネルギーをもらい、一年間で多くの知識と体力を身につけ、卒業後は地域のリーダーとして活躍してほしい」とあいさつした。

